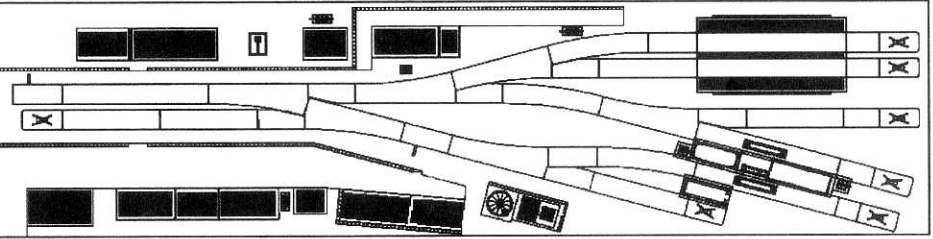


- ローカルストラクチャー関連製品
- 23-130 ローカルホームセット
  - 23-131 ローカルホーム延長セット
  - 23-132 ローカルホームアクセサリ
  - 23-220 ローカル駅舎セット
  - 23-221 ローカル貨物ホームセット
  - 23-222 鉄道官舎 2棟入り
  - 23-224 跨線橋
  - 23-225 木造機関庫
  - 23-227 側溝
  - 23-228 スポーツ・変圧柱
  - 23-229 給炭・給水セット
  - 23-233 機関区施設セット

- 構内建物セット配置例 (レイアウト寸法 1200 × 300 mm)
- 23-233 23-226 23-233 23-226 23-228 23-225  
 用具倉庫 線路班詰所 配電室 工作室・物置 変圧柱 木造機関庫



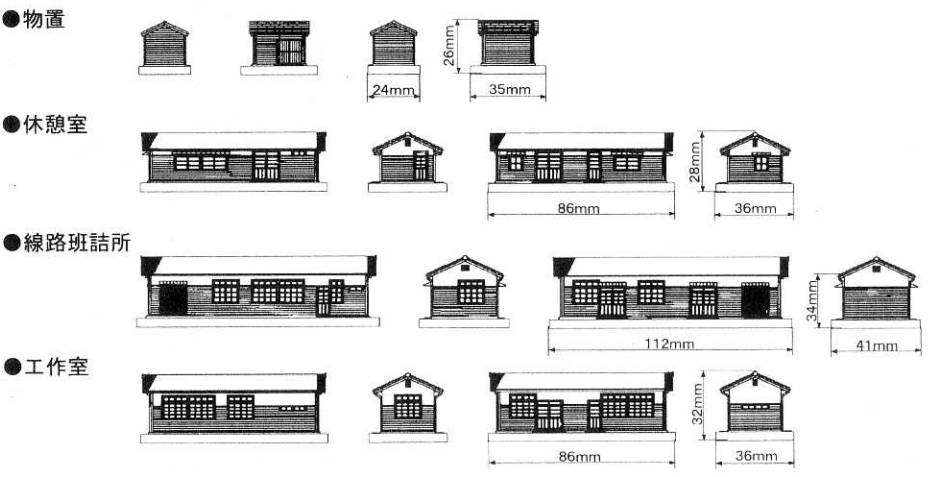
- 23-233 23-233 23-233 23-226 23-233 23-229 23-229 23-228  
 乗務員 機関区事務室 油庫 休憩室 浴場 給水塔 スポーツ 石炭台・灰置場 スポルト  
 詰所 用品倉庫・燃料係室 ポンプ小屋/井戸 砂置場 アッシュピット

※上図は、ユニットラックとローカルシリーズの関連製品（別表参照）で作った、レイアウトセクションのプランです。組み合わせにより、懐かしい駅や機関区を再現できます。

ユニットラック使用線路					使用ポイント	
S 186	5本	S 62 F	2本	車止 C	7本	4番 L 4本
S 124	4本	S 45	2本			4番 R 2本
S 62	3本	S 29	3本			

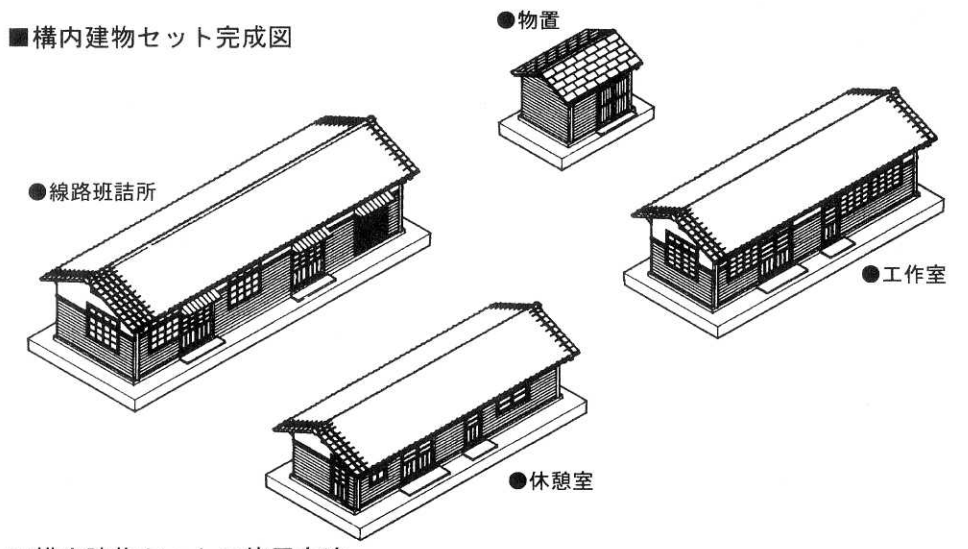
(表は上図のユニットラック線路使用本数です。)

■構内建物セット 規格図



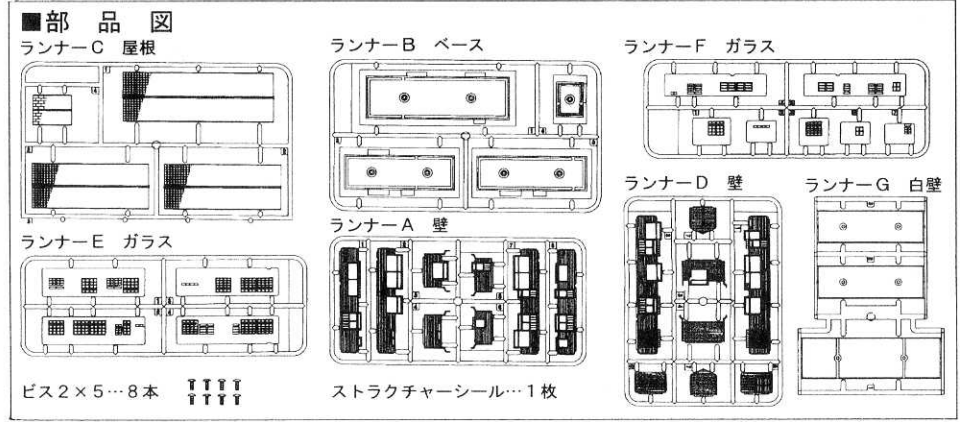
KATO 株式会社 関水金属 MADE IN JAPAN  
 無断転載を禁ず 023-0613-0912  
 製品の形状・仕様などは予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■構内建物セット完成図



■構内建物セットの使用方法

本製品は、昭和30～50年代まで全国各地の駅や機関区などで見ることのできた建物をモデル化しております。この頃の駅や機関区などでは、いろいろな事務所や詰所等の建物が立ち並び、活気ある鉄道情景を作り出しておりました。そんな情景を演出する上で、無くてはならない名脇役達が、このセットを構成しています。本製品の4つの建築群は、ローカルシリーズの関連製品（別表参照）との組み合わせにより、懐かしい駅や機関区を再現できます。

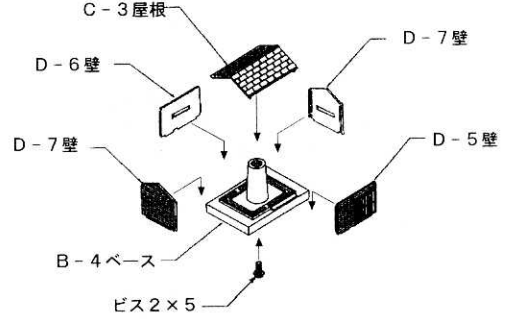


■組み立てを始める前に必ずお読みください。

- この製品を組み立てるために、ニッパー・カッターナイフ・ドライバーをご用意ください。
- 必ず部品図と照合して内容をお確かめのうえ、説明書を最後までよくお読みになってから組み立てを始めてください。
- このキットには接着剤は不要です。また各部分は、モールドで色分けしてありますので、塗装することなく、リアルで見えのするストラクチャーが完成します。
- お好みにより塗装する場合は、組み立て前に、市販のプラ模型用塗料をご使用ください。その際、火気に注意し、換気を十分に行ってください。
- 小さな部品をお子様などが口に入れたり飲み込まぬよう、ご注意ください。

■物置の組み立て

- ①図のように所定の壁をベースに差し込みます。
- ②屋根を乗せ、ビスで1個所止めて完成です。

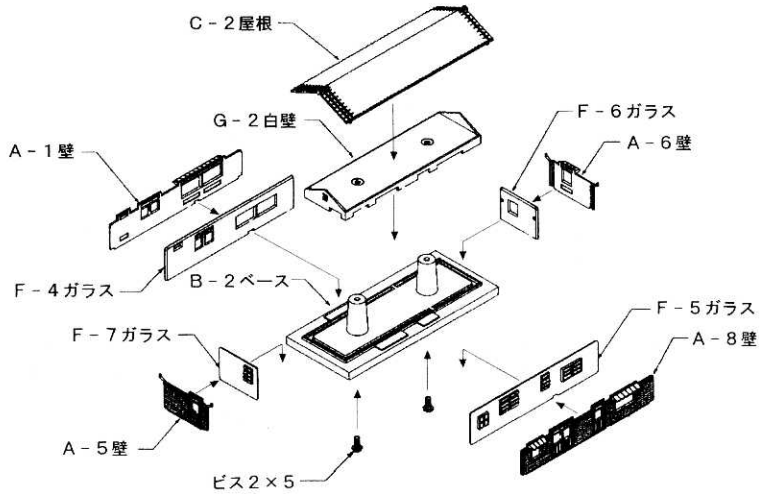


■休憩室・線路班詰所・工作室の組み立て

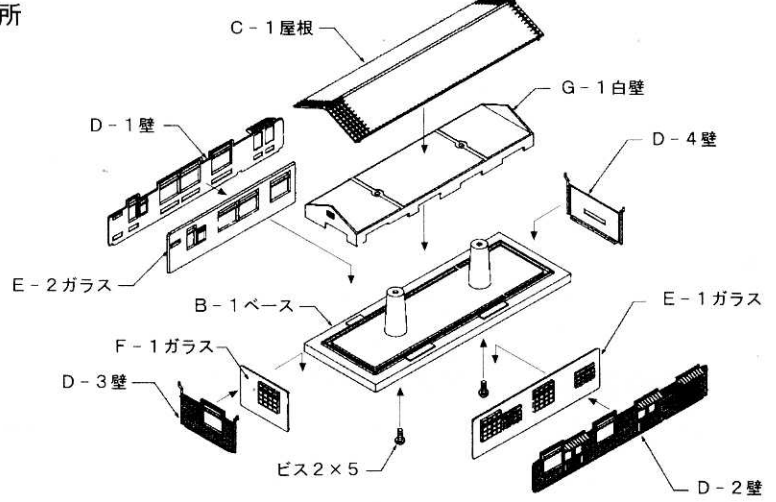
ガラスパーツの有無を除いてすべて同じです。各々の組み立て図を参考に組み立ててください。

- ①図のように所定の壁とガラスを組み合わせます。
- ②白壁に組み合わせた壁とガラスを差し込みます(裏返して作業すると簡単です)。
- ③ベースを差し込みます。
- ④屋根を乗せ、ビスで2個所を止めて完成です。

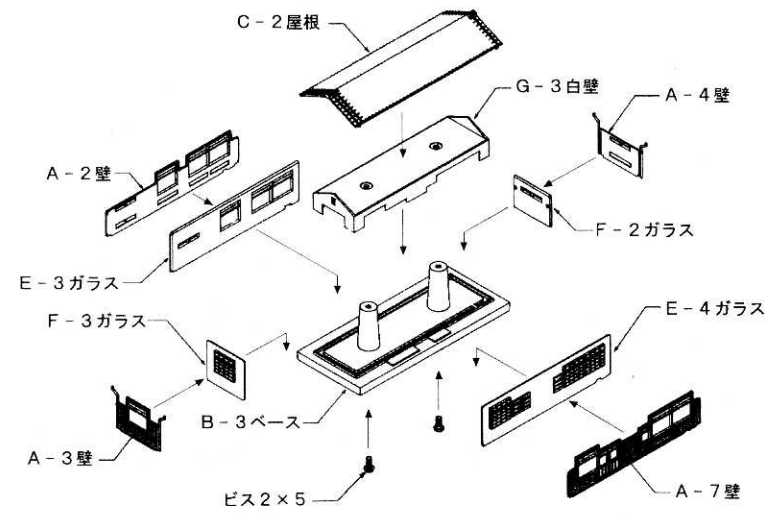
1) 休憩室



2) 線路班詰所



3) 工作室



■シールの取り扱い方法

- シールの貼り付け位置の指定は、特にありません。箱の写真や実物写真などを参考にして、お好みの場所に貼ってご使用ください。
- シールは、外形線にそってカッターナイフなどで切り抜き、貼り付けてください。小さいものは、ピンセットなどを使用します。
- 貼り付ける場所に凹凸がある場合は、市販のプラ板などを利用して貼ってください。

